

平成 2 4 年～ 2 5 年の多治見市および市長の主な動向・実績

■平成 2 4 年

- ・古川市長が岐阜県市長会長、東海市長会長に就任（6月6日）
- ・岐阜県市長会をセラミックパークMINOで開催（10月16日）
- ・第7回マニフェスト大賞優秀賞を受賞（11月2日）
- ・トヨタ紡織多治見技術センター（笠原）、
トヨタ自動車多治見サービスセンター（山吹テクノパーク）の着工
- ・アマゾン多治見フルフィルメントセンター（旭ヶ丘テクノパーク）の開所
- ・新多治見市民病院の開院（8月1日）
- ・東京都足立区、大阪府河内長野市と「災害時における相互応援に関する協定」を締結。

■平成 2 5 年

- ・古川市長が全国市長会副会長に就任（6月5日）
- ・トヨタ自動車多治見サービスセンター竣工式
- ・アマゾン多治見フルフィルメントセンター内覧会
- ・根本交流センター竣工式
- ・核融合科学研究所実験に関する3市調印式
- ・第3回中部環境先進5市サミットIN多治見を開催。「災害時における相互応援に関する協定」を締結
- ・通院にかかる医療費を中学3年生まで無料化（平成26年4月から）

※いずれも「多治見市トピックスから抜粋」

■五大プロジェクト建設事務局の創設（平成 2 4 年度）

関係各課との連絡・調整等を包括的に行うため、大規模事業を一つの部署に集約。

【主な事業】

- ・根本交流センター（平成25年4月オープン）
- ・多治見市駅北庁舎（平成27年1月オープン）
- ・モザイクタイルミュージアム（平成26年度笠原庁舎を解体し平成28年度オープン）
- ・（仮称）星ヶ台保育園（平成28年4月オープン）
- ・新火葬場（平成26年度から建設工事を開始し、平成27年冬オープン）

平成24年～25年における市長マニフェスト基本政策の取組内容及び実績等

○マニフェスト5つの基本政策

「人財」育成をさらに進めます

※「取組内容」は主なものを抜粋

	平成24年10月末現在の 取組内容	平成25年10月末現在の 取組内容
中学3年生での 30人程度学級編成	各中学校に合計13人の講師を配置。3年生において30人程度学級を実現。	各学校に合計6人の市費非常勤講師を配置。
幼・保・小中学校での 「脳トレ」「体トレ」	公立幼保において体力テストを年2回実施。 「いきいき遊び」「脳活学習」による自尊感情の高まりについて調査・研究を実施。	小学校にiPadを配備し脳活学習を効果的に実施。 幼保において体力テストを年3回実施。各園・学校において健康・体力アッププランを実施。
障がいを持った 子どもたちの支援	就学指導委員会を年3回開催。 小中学校へのキキョウスタッフ合計32人配置。	就学指導委員会を年4回開催。 小中学校へのキキョウスタッフを合計32人配置。 各校一人ずつ、ほほえみ相談員を配置。インクルーシブ教育推進員委員会を年2回開催。
市民活動を担う「人財」の 育成支援とネットワーク化	オープンキャンパス（前期143講座）、スポーツ指導者養成講習会を開催。 市民活動交流支援センターを学習館6階に移転。	オープンキャンパス、スポーツ指導者養成講習会を開催。
市職員の研修の充実	職場環境こころがけ研修（5S研修）、規律意識向上研修、おもてなし日本一研修、メンタルヘルス研修等、各種研修を受講。	職場環境こころがけ研修（5S研修）、規律意識向上研修、電話応対研修、安全運転実技研修等、各種研修を受講。

元気なまちに不可欠な産業を育てます

	平成 24 年 10 月末現在の 取組内容	平成 25 年 10 月末現在の 取組内容
郊外での企業誘致	トヨタ自動車(株)、アマゾンジャパン・ロジスティクス(株)、トヨタ紡織(株)の操業に向けた支援を実施。	事業用地として長瀬地区を最終候補地に決定。地権者や関係者との折衝を開始。
日帰り観光による集客	うながっぱ隊によるPRを各地イベントで実施。 東京都庁等において東濃 5 市による観光PRを実施。	J R 各駅や車内に観光ポスターを掲示。5 駅でチラシ配布。 ディズニースペシャルパレードを誘致し「多治見まつり」で開催。
アジアからの観光客の誘致	昇竜道プロジェクトへの参画。 観光PR動画撮影を行う。 台湾ロータリークラブや南京の小学生を誘客。 銀聯モール及び中国商談会への美濃焼出品が決定。	A S E A N 諸国からの観光誘客に向けて、シンガポールのメディアを受入。駐日インドネシア共和国大使と市長が接見。
タイルや陶磁器の育成支援	東京ドームの「テーブルウェアフェスティバル」、東京ビッグサイトの「建築建材展」へ出展。	東京ドームの「テーブルウェアフェスティバル」、東京ビッグサイトの「建築建材展」へ出展。
意欲ある 事業者・起業家の支援	企業お見合いを実施(商談数 248) 「き」業展を実施(出展者 114)	企業お見合いを実施(商談数 341) 「き」業展を実施(出展者 120)

環境にやさしく、安全・安心なまちづくりを進めます

	平成 24 年 10 月末現在の 取組内容	平成 25 年 10 月末現在の 取組内容
水と緑にあふれた市街地	学習館にA I 危機を導入、笠原中央公民館に太陽光発電を設置予定。 大正公園、白山児童遊園の植栽整備を設計中。	白山児童遊園、上野公園、前畑児童遊園の3か所について、緑化工事を予定。
新市民病院の建設と医療の確保	平成 25 年 6 月に新病院が完成。8月1日からの診療開始。 新病院開院に合わせた土曜診療を開始。	平成 25 年 5 月に外構工事を終え、8月オープン。
子どもの医療費	平成 24 年 7 月 1 日から助成対象を小学 6 年生まで拡大。	小学 6 年生までの通院費助成及び中学校卒業までの入院費助成を継続。
新しい火葬場の建設	地元説明会や先進地見学会を開催。 環境アセスの継続（春、夏、秋季） 用地測量、都市計画決定手続を開始。	地元対策委員会との協議、周辺地権者との用地交渉、建築・造成設計、都市計画決定と事業認可手続き等を実施。
消防・防災の体制強化	水防訓練、救命講習参加者に規律訓練を実施。 市立小中学校（21 校）でPTAの協力を得て“土のう”を作成・保管。 （合計 5,300 袋） 毎月 2 回救急救命士による口頭指導検証会を実施し、マニュアルを作成。	平成 25 年 9 月 1 日に女性消防隊発足。 資機材搬送車及び小型動力ポンプ付積載車（池田・滝呂分団）を配備。 北消防署に高規格救急車を配備予定（3 月）

利便性の高い「多治見」をつくります

	平成 24 年 10 月末現在の 取組内容	平成 25 年 10 月末現在の 取組内容
国道 248 号線(市民病院周辺)の渋滞解消	県道武並土岐多治見線の道路拡幅を県に要望中。	用地買収完了。平成 26 年 3 月末工事完了。
旧国道 248 号線(多治見 I C 出口～ピアゴ)の道路拡幅	市施工区間(コンビニ～住吉交差点)の 4 車線化完了。	ピアゴ付近の 4 車線化工事実施中、平成 26 年 3 月末完成。
駅南口周辺の 民間のまちづくり	庁内検討会議を開催。	先進事例の視察、地権者への意向調査を実施。
駅北地区の公共施設整備	隣接する土地の区画道路、歩行者専用道路、駅北口からの仮設歩道の整備を実施。	平成 26 年 5 月に駅北自転車駐車をオープン予定。 駅北多目的広場の基本構想を策定中。
保健センターや 市役所分庁舎の駅周辺整備	平成 25 年 3 月の用地取得に向けて協議中。 「多治見駅北地区公共公益施設基本計画」を策定。 平成 25 年 2 月完了をめざし、市役所分庁舎の詳細設計を実施中。	6 月に駅北庁舎着工開始、平成 27 年 1 月オープンに向けて建設中。

市民参加の市政運営を目指します

	平成 24 年 10 月末現在の 取組内容	平成 25 年 10 月末現在の 取組内容
行政改革と政策の 優先順位の明確化	第 6 次行政改革を着実に実行。 総合計画ヒアリングにおいて、事業 課と政策の方針や優先順位を確認 の上、翌年度以降 4 年間の事業計画 を検討。	第 7 次行政改革大綱で対象となる事 業の取組状況を確認し、可能なもの から次年度予算へ反映。 事業評価委員会による総合計画・行 政改革進行管理の検証を予定。(平 成 26 年 3 月)
政策への市民参加	施策評価シート内に「市民参加の方 策」を新設。平成 24 年度末に総合 計画の事業評価を実施。	各事業担当者で検討した市民参加 の方策に基づき、事業実施段階での 市民参加を推進。
市民委員会の組織化	第 7 次総合計画大綱の策定にあた り、市民等で構成する行政改革懇談 会を設置。	事業評価委員会委員を 7 名から 9 名 に増員。
NPO やボランティアが 活躍できる仕組み	「多治見市まちづくり活動補助事 業」の推進。 決定事業と関連課の連携支援。 市民活動団体、NPO、民間企業、 行政組織などが協働できる体制の 普及。	「多治見市まちづくり活動補助事 業」を推進し、多様な分野の NPO 等市民活動団体が活躍できる機会 を増やす。 必要に応じ事業に関する相談を受 け、関係団体や関連課の調整を実 施。
議会との対話、議論	公共施設整備研究会を駅北地区公 共公益施設建設特別委員会に改組。	駅北公共公益施設特別委員会及び 協議会を開催。